◎　日刊工業新聞(2008年8月4日)

低温物理学のサイモン記念賞

蔡氏・中村氏（NEC）受賞

低温物理学分野の優れた研究を表彰する「2008年サイモン記念賞」を、NECの蔡兆申（ツァイ・ヅァオシェン）ナノエレクトロニクス研究所主席研究員（理化学研究所巨視的量子コヒーレンス研究チームチームリーダー）と中村泰信主席研究員（同チーム客員研究員）の2人が受賞することが決まった。

巨視的な物理系である超電導固体素子上で量子コヒーレント状態を世界で初めて実現し、固体素子を使った量子コンピューター実現の可能性を開いた成果などが評価された。研究は科学技術振興機構（JST）の支援を受けて進めた。

同賞は約3年ごとに国際純粋・応用物理学連合（IUPAP）が選定、これまでノーベル賞受賞者を含む22人が受賞している。6日からオランダで開かれる「第25回国際低温物理学会」で授賞式が行われる。